

IDDOT kagoshima

[2023]

2023 07



未来へ
〜作業療法の創造と融合の可能性〜

プログラム・学会誌

九州作業療法学会2023 in 鹿児島

会期 2023年7月8日土・9日日

学会長 吉満 孝二 鹿児島大学

会場 かごしま県民交流センター

主催 九州作業療法士会長会

IDDOT kagoshima

[2023]

2023 07



九州作業療法学会2023 in 鹿児島

未来へ ～作業療法の創造と融合の可能性～

プログラム・学会誌

会 期 2023年 7月8日(土)・9日(日)

会 場 かごしま県民交流センター

学会長 吉満 孝二 鹿児島大学

主 催 九州作業療法士会会長会

九州作業療法学会2023 in 鹿児島 事務局

一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会

〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町1-13 ナポリビル4階

TEL/FAX: 099-225-8222

E-mail: kyuot2023@gmail.com

<https://kyuot2023.secand.net/>

INDEX

学会長挨拶	1
会場アクセス	2
会場案内	3
参加者の皆さまへ	5
座長の皆さまへ	7
発表者の皆さまへ	8
優秀演題の表彰について	11
日 程 表	12
プログラム	14
抄 録	
学会長講演	18
教育講演 1～3	20
シンポジウム 1・2	26
座談会 1・2	38
専門職講演	42
九州作業療法士会会長会 MTDLP 推進委員会企画	44
九州作業療法士会会長会 リーダー養成研修会	46
一般演題プログラム	49
組 織 図	58
いっどマルシェ出店者一覧	60
機器展示一覧	61
後援団体一覧	62
ロゴ作成者	63
編集後記	64

学 会 長 挨拶

ご挨拶

九州作業療法学会 2023 in 鹿児島
学会長 吉満 孝二
(鹿児島大学 医学部 保健学科)



謹啓 皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より九州各県作業療法士(協)会の活動に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、私たちは2023年7月8日(土)から9日(日)の二日間、かごしま県民交流センターにて「九州作業療法学会 2023 in 鹿児島」を開催いたします。本学会は、昨年度まで新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインのみの開催となっておりましたが、学術集会本来の活気と交流の楽しみを取り戻したいとの願いを込めて、対面とオンラインのハイブリッド形式で実施することとなりました。

今回の学会のテーマは「未来へ ～作業療法の創造と融合の可能性～」です。近年多発する自然災害や未知の感染症の中でも継続的な医療と介護を提供するために、私たちは新たな視点から作業療法の可能性を追求し、多職種との連携や新しいテクノロジーの導入など、異分野との融合を図るべく努力しています。

そのために、この学会では演題発表を通じて作業療法士の日々の臨床や研究の成果を共有するのはもちろん、過去例のない取り組みとして 1) アートブリュット*に造詣深い美術館館長、障がいを負いながらも YouTube で大活躍する当事者、新進気鋭の福祉業界のリーダー他、異分野のユニークな講師の招聘、2) 福祉事業所による賑やかなマルシェ、3) 車いすスペース設置や字幕付き講演による学会のバリアフリー化、4) 聴講者のオンライン投票による最優秀演題決定、5) 自由な情報発信の機会である OT 瓦版、6) 高齢者福祉分野で期待される介護ロボットの体験ツアー、7) 障がい者福祉分野で注目を集める e-スポーツ体験会を実施します。

私たちは、多くのプログラムを他職種、県民、障がいのある皆さまに広く公開することで、作業療法士の取り組みや作業療法の未来を紹介し、地域社会に貢献することを目指しています。

皆様のご理解とご支援を賜り、多くの方々にご参加いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

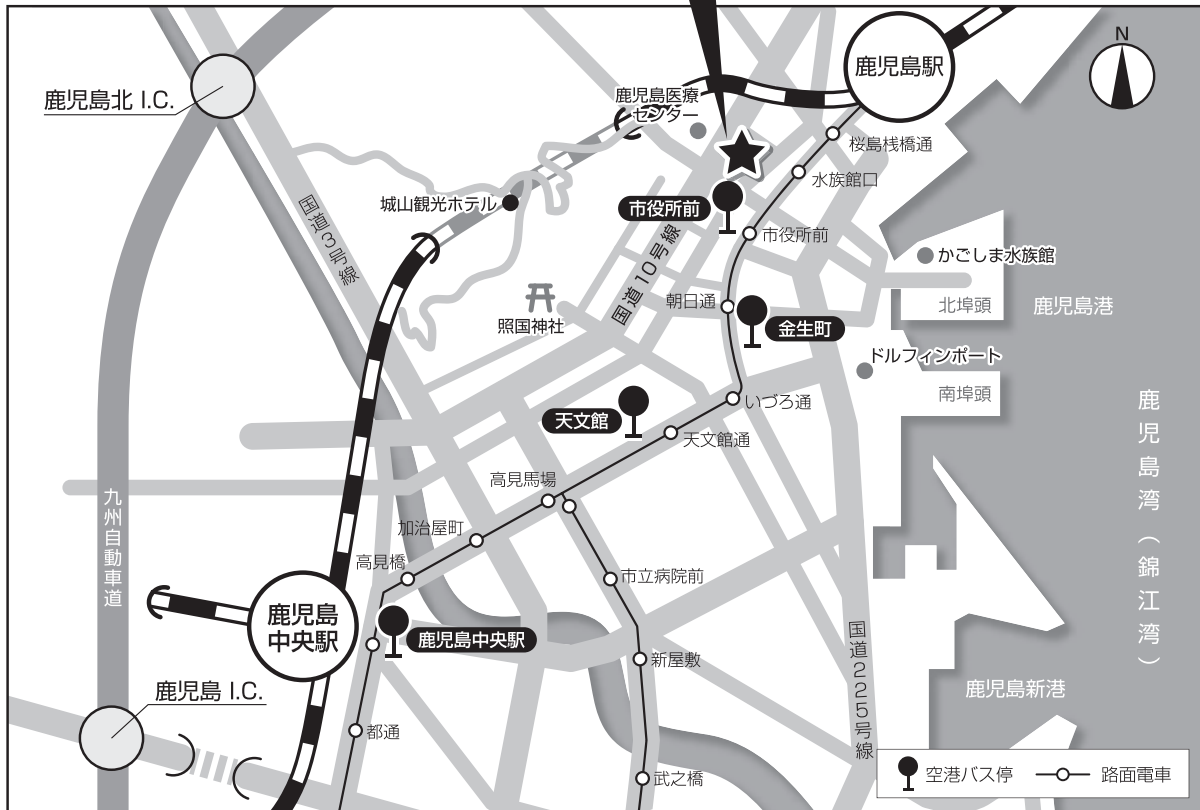
敬具

*精神障害者や子ども、自己教育の芸術家など、伝統的な芸術教育を受けていない人々が制作した作品を指す。

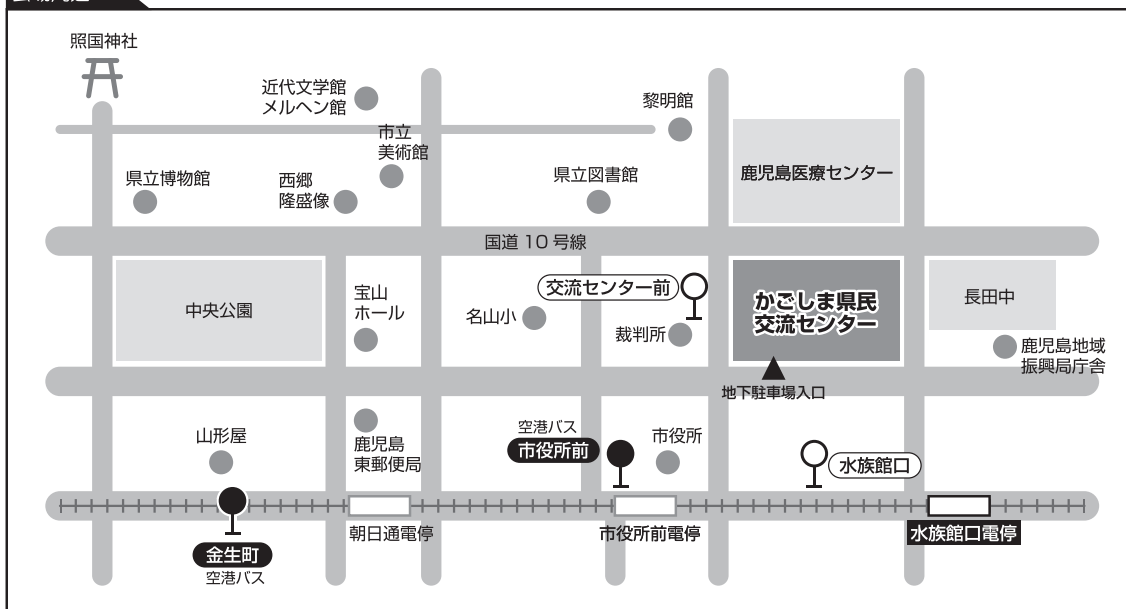
会場アクセス

周辺 MAP

九州作業療法学会 2023 in 鹿児島 会場 かごしま県民交流センター



会場周辺



● 駐車場

● 地下（1・2階）約 500 台

料金：30 分 150 円（※交流センター利用者は 2 時間まで無料です。受付にて認証処理を行なって下さい。）

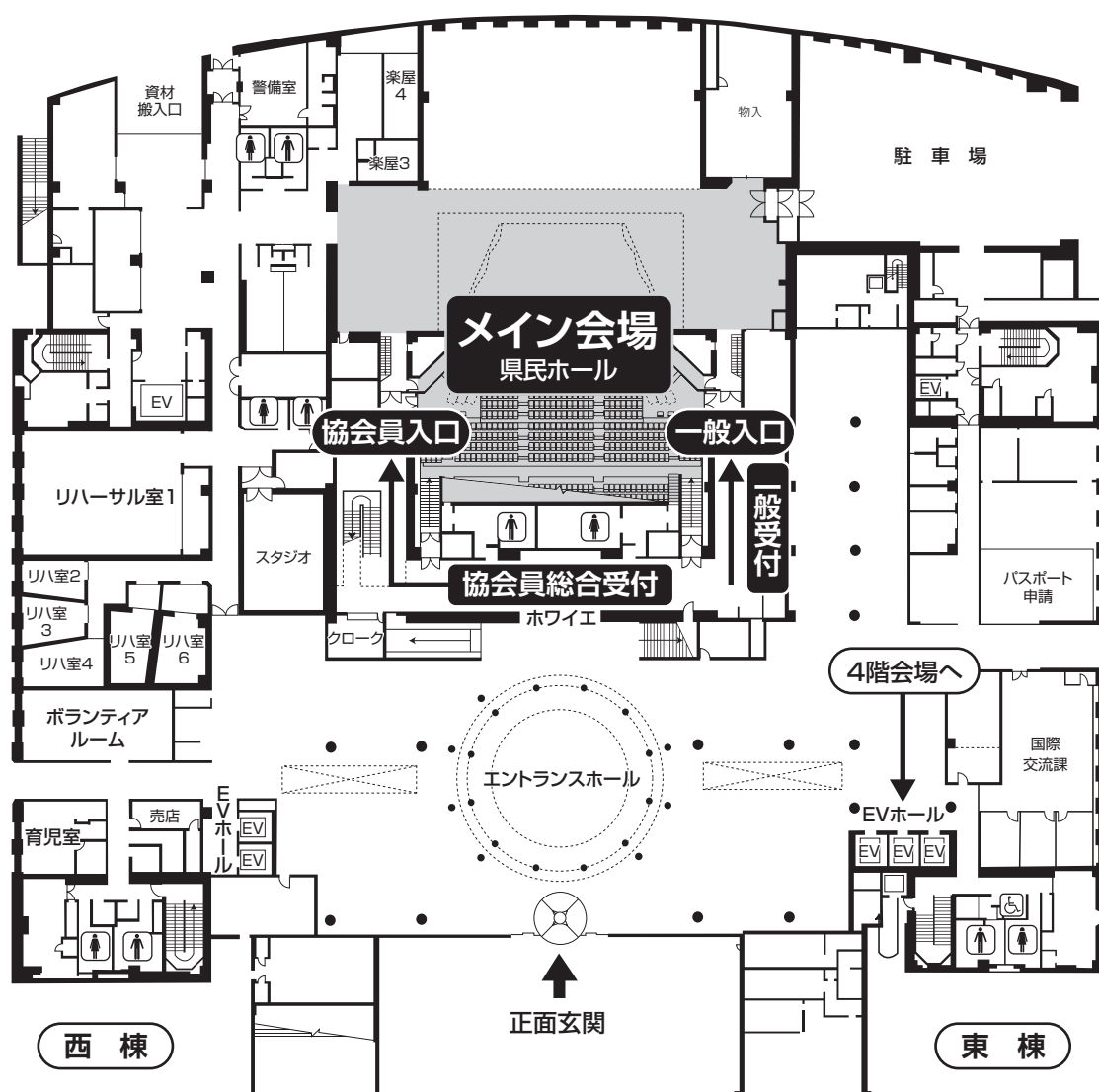
※学会当日の駐車場は混雑が予想されます。公共交通機関または会場近くのコインパーキング等をご利用ください。

会場案内

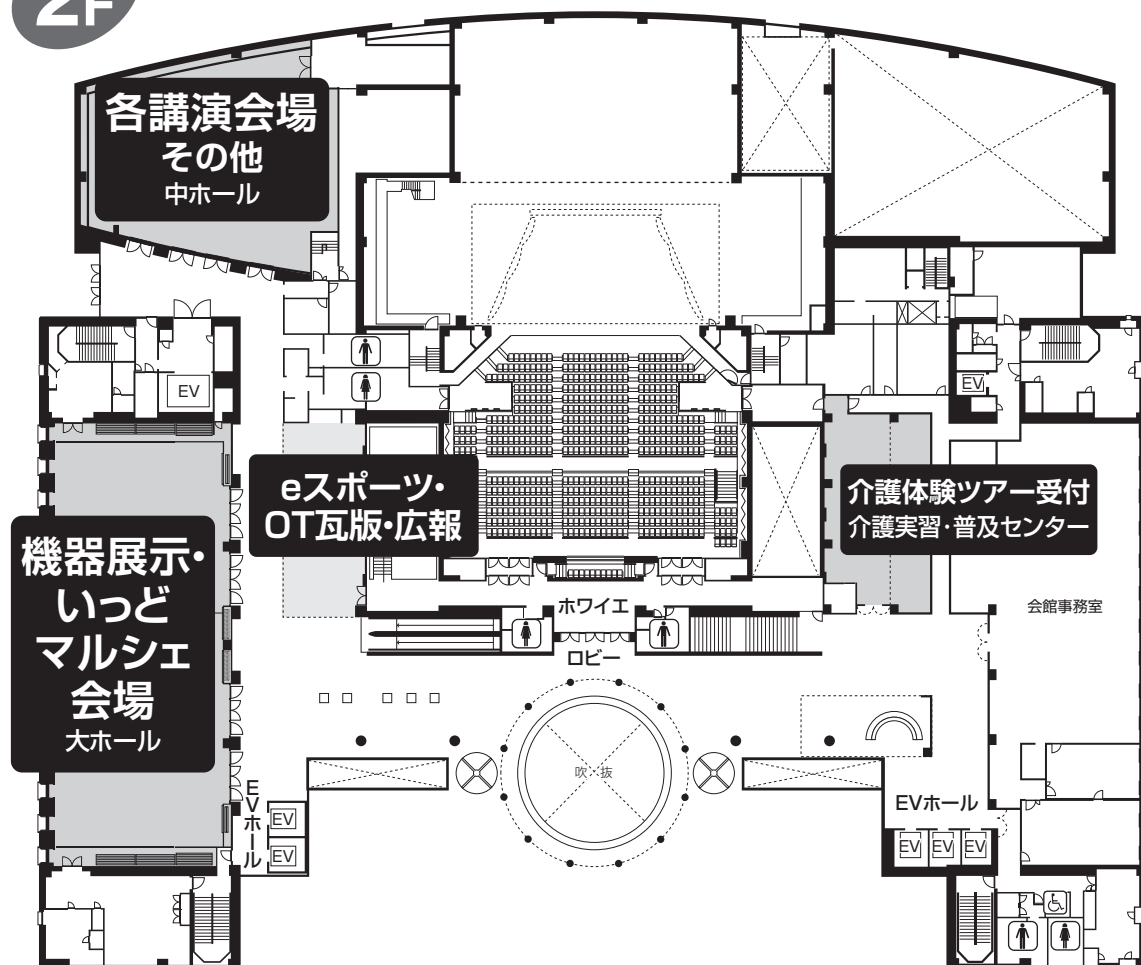
※飲食・休憩スペースは大ホール、東棟3階大研修室3になります。

エントランスホールでも飲食可能ですが、他の利用者への配慮をお願いいたします。

1F



2F

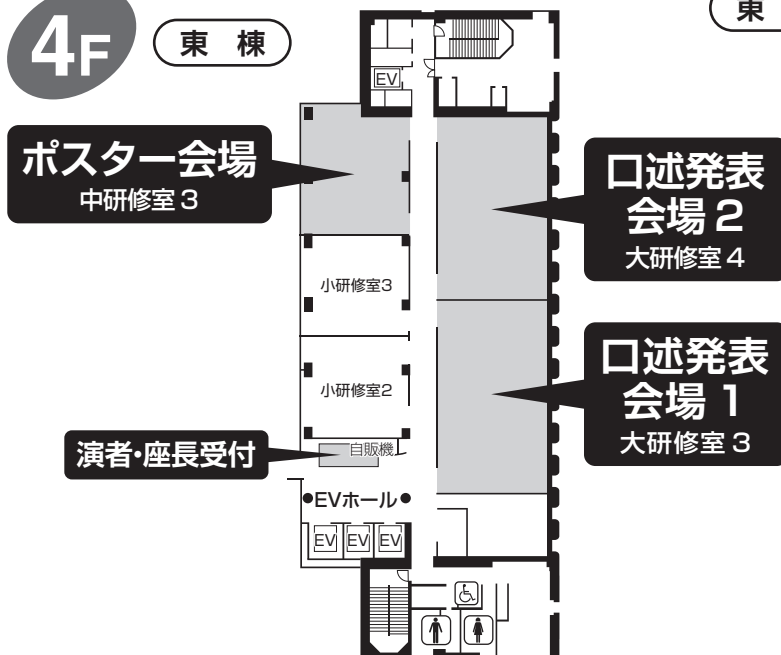


西棟

4F

東棟

東棟



参加者の皆さまへ

1. 学会参加費について

(1) 作業療法士 (○：加入、×：未加入)

都道府県士会	日本 OT 協会	参加受付		金 額	
				両日参加	1日参加
○	○	事前登録	九州圏内	6,000 円	3,000 円
			九州圏外	7,000 円	
		当日	九州圏内	7,000 円	4,000 円
			九州圏外	8,000 円	
×	○	事前登録	九州圏内	12,000 円	
			九州圏外		
		当日	九州圏内	12,000 円	
			九州圏外		
○	×	事前登録	九州圏内	6,000 円	3,000 円
			九州圏外	7,000 円	
		当日	九州圏内	7,000 円	4,000 円
			九州圏外	8,000 円	
×	×	事前登録	九州圏内	20,000 円	
			九州圏外		
		当日	九州圏内	20,000 円	
			九州圏外		

(2) 他職種等の参加費

	参加受付	金 額
		両日参加
他職種	事前登録	7,000 円
	当日	7,000 円
一 般	事前登録	7,000 円
	当日	7,000 円
学 生	事前登録	1,000 円
	当日	1,000 円
他職種・一般 選択聴講	当日のみ (1 講演)	1,000 円

※学生は OT 養成コース所属の方のみとします。免許取得者の学生 (学部生・大学院生) の方は、会員 OT としての参加費をお支払いください。

※オンラインでの参加受付は、事前登録のみとなります。

※他職種・一般の選択聴講は、教育講演、座談会、シンポジウム、専門職講演が対象となります (学会長講演は無料)。

2. 学会参加受付期間について

学会参加事前登録は： 6月1日(木)～7月3日(月)正午まで
(※参加費の入金は7月4日(火)正午まで)

3. お問い合わせ先

九州作業療法学会 2023 in 鹿児島 大会事務局までお問い合わせください。

座長の皆さまへ

【事前の準備】

7月3日(月)正午までに、学会ホームページよりオンライン参加登録を済ませてください。

事前に学会誌を配布します。学会誌および学会ホームページで発表セッションと時間をご確認ください。

【当日の発表について】

- 1) 1階メインエントランスホールにて参加受付を済ませた後に、担当セッション開始時刻1時間前までに4階東棟のエントランス(エレベーター前フロア)で座長受付を行ってください。
- 2) 開始時刻10分前までには、担当される会場の座長席の近くにお座りになってお待ち下さい。
- 3) 演題発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。発表終了1分前と終了時に合図をします。
- 4) 担当セッションの進行については、全て座長に一任いたします。プログラムの進行にご配慮と円滑な進行となりますようよろしくお願いいたします。
- 5) 本学会は、Web 会議アプリ「Zoom」を使用したオンライン配信による参加者の聴講も行います。質疑応答の際は、オンライン配信への対応もよろしくお願いいたします。
- 6) 聴講者より質問が出ない場合は、座長より質問をしていただくなどご高配を賜りますようよろしくお願いいたします。

発表者の皆さまへ

【事前の準備】

7月3日(月)正午までに、学会 HP よりオンライン参加登録を済ませて下さい。

事前に学会誌を配布します。学会誌および学会ホームページで発表セッションと時間をご確認ください。

【発表者受付について】

1階メインエントランスホールにて参加受付を済ませた後に、担当セッション開始時刻1時間前までに4階東棟のエントランス(エレベーター前フロア)で発表者受付を行ってください。

【利益相反の開示】

当学会では、演題発表時に演題発表に関連する企業等との COI の有無および状態について申告することを以下に義務づけます。発表時に利益相反の有無についても述べてください。

〈学会発表における利益相反の掲示方法〉

口述発表(および優秀演題発表)は演題名の次(2枚目)のスライドで開示すること。

ポスター発表はポスターの最下部に開示すること(ポスターレイアウトを参照)。

利益相反のスライド見本につきましては、HP よりダウンロードしてください。

【演題内容に関わる倫理的事項について】

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省、厚生労働省及び経済産業省。令和4年3月10日一部改正)などを遵守し、発表の際に倫理的配慮が必要な場合は口頭で述べてください。

【口述発表(および優秀演題発表)】

1. 口述発表の環境・手続きについて

1) 映写面は各会場ともに1面です。

2) 会場で用意しているパソコンを使用し、スライドを映写して発表となります。ご自身のPCの持ち込みはできません。

発表はPCプレゼンテーション(OS: Windows、ソフトウェア: Microsoft Office PowerPoint 2011以降のバージョン)のみとします。

こちらで準備しているパソコンのOSはWindowsのみです。Macでスライドを作成する場合は、Windowsで正しく稼動することを事前に確認をしておいてください。発表時に不具合が生じた場合、運営側での責任は負いかねますので、ご了承ください。

3) スライドサイズは、標準(16:9)設定にしてください。

- 4) 発表用スライドは、USB メモリにデータを保存し、当日に受付へ提出してください(トラブルに備えてバックアップデータもご持参ください)。

発表データの保存ファイル名は、「演題番号-氏名-所属」としてください。

(例：O18-九州花男-〇〇病院)

発表用スライドを保存している USB は、必ずウイルス対策ソフトにてチェックを行ったものをご提出ください。

受付横に PC を準備しますので、各自で動作確認をお願いします。

発表用データは、会場内の PC にコピーさせていただきますが、学会終了後に責任を持って消去します。

- 5) アニメーションや動画を用いた発表も可能です。使用は MPEG3, MPEG4, WMV のみとします。ただし、発表時に不具合が生じた場合、運営側での責任は負いかねますので、ご了承ください。
- 6) フォントは OS 標準※のみご使用ください。

※ MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Arial, Arial Black, Century, Century Gothic, Times New Roman

- 7) 発表時のレーザーポインターは使用できません。マウスによるポインターをご使用ください。
- 8) 発表時は発表者ツールを使うことはできません。

2. 発表の流れについて

- 1) 発表するセッションの10分前には「次演者席」に着席してください。

発表および質疑応答は座長の指示に従ってください。

- 2) 演題発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。
発表終了1分前と終了時に合図をします。時間遵守をお願いします。

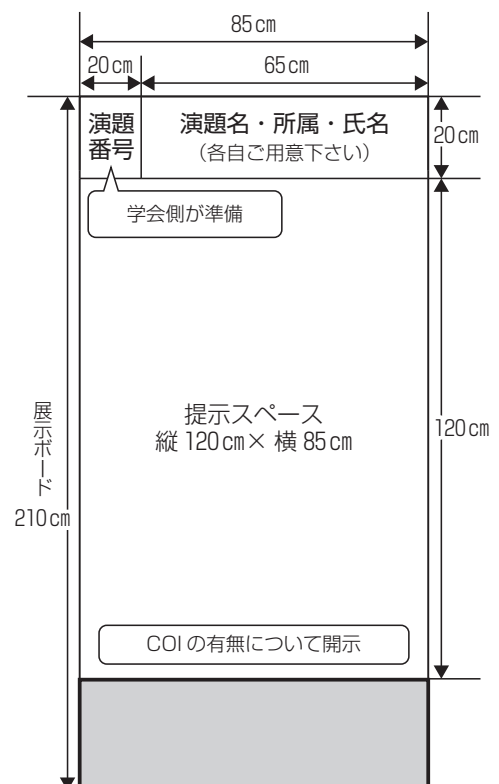
- 3) 発表は、舞台上にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用してご自身で操作してください。

- 4) 優秀演題発表は発表時間10分で、質疑応答はございません。

【ポスター発表】

1. ポスターの作成(フォーム)について

ポスターの示説スペースは、縦120cm、横85cm内です。図を参考にして、各自で演題名・所属・氏名(縦20cm、横65cm)を作成してください。ポスターの本文(図表・写真含む)は、文字サイズ・フォントの種類、図表・写真の枚数は特に定めませんが、必ず指定のスペースに収まるように作成してください。



2. ポスター掲示について

1) 学会では以下のものをご用意いたしますので、各自でポスターの掲示をお願いします。

- 掲示パネル
- 演題番号：掲示パネルの左上部に演題番号を取り付け表示します。
- 画鋏：ポスターを貼り付けるための画鋏・ピンをご用意いたします。
- 写真撮影可否シール：演題番号下部に貼り付けてください。

2) ポスターの貼り付けは下記の時間内に各自でお願いします。

7月8日(土)9:30～10:20

ポスターの撤去は下記の時間内に各自でお願いします。指定時間以降も掲示されているポスターは、学会運営局にて処分いたします。

7月8日(土)17:00～18:00

3. 発表の流れについて

- 1) 発表者は担当セッション開始10分前までに各自のポスター前に待機してください。
- 2) 今回の発表は、指定された時間内にポスターの前に立ち、参加者と自由にディスカッションしていただく形式となります。
- 3) 発表者は当該セッションの時間中、ポスター前から離れないようにしてください。

【発表ポイント】

筆頭演者は2ポイントの生涯教育基礎研修ポイントが付与されます。認定作業療法士の方は、更新要件の実践報告(25np)として登録できます。

演題採択後、①2023年度の九州各県士会会費の納入、②学会への参加申込みおよび学会参加費の支払い、③発表をもって、本学会でのポイント付与とします。

【代理発表について】

原則、筆頭演者の変更は認めません。不測の事態により筆頭演者が発表できない場合は、共同演者が代理での発表ができるように準備をお願いします。この場合は、共同演者による代理発表として取り扱います。

代理発表ができない場合は演題を取り下げさせていただきます。

【演題に関するお問い合わせ】

その他、演題に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

九州作業療法学会 2023in 鹿児島

学術部査読部 持永博幸

kyuotendai2023@gmail.com

優秀演題の表彰について

【審査対象】

本学会で採択された全ての演題を対象としました。

【審査方法】

一定の基準に基づいて学会準備委員会(学会長と学会学術委員)で厳正なる審査を行い、各県1演題、計8演題を優秀演題発表として決定いたしました。

最優秀演題について

【最優秀表彰審査基準】

1. テーマや内容に創造性や独自性があり、作業療法の発展に貢献すると判断される。
2. 作業療法の目的が適切であり、その目的が論理的プロセスを踏んで達成されている。
3. 他の参加者が聞いて有効な発表内容である。
4. 構成や表現などが優れている。

優秀演題の中から、当日の発表内容、上記1～4の審査基準などを加味し、会場・オンラインの聴講者によるWEB投票で「最優秀演題」を決定します。

発表・表彰

優秀演題受賞者および最優秀演題受賞者の表彰は閉会式で行います。

日 程 表

1日目 2023年7月8日土 かごしま県民交流センター

	1-2階	2階	4階			2階		
	メイン会場 県民ホール	各講演会場 中ホール	口述発表会場1 大研修室3	口述発表会場2 大研修室4	ポスター会場 中研修室3	機器展示 マルシェ 大ホール	eスポーツ OT・広報 展示ロビー	介護体験 ツアー受付 介護実習・ 普及センター
9:00								
	9:30～ 開 場				9:30～ 10:20 ポスター 貼付			
10:00								
	10:20～10:50 開会式					一般可 10:30 ～ 16:00 機 器 展 示 & マ ル シ エ		
11:00	一般可 W 11:10～12:10 学会長講演 介護ロボット 最前線 講師：吉満 孝二 座長：福永 一喜		専門職可 Z 11:10～12:10 口述発表 1 脳血管疾患等① 座長：秦 陽一	専門職可 Z 11:10～12:10 口述発表 2 地域 座長：池田 真一	専門職可 11:10～ 13:00 ポスター 発表			
12:00			専門職可 Z 12:30～13:30 口述発表 3 援助機器 座長：爲近 岳夫				一般可 12:00 ～ 14:50 e ス ポ ー ツ 体 験 & O T 瓦 版	
13:00	一般可 W 13:00～14:00 教育講演 1 アートブリュット 生み出すことと生 きること～美術と 福祉の交わる場所		専門職可 Z 13:40～14:40 口述発表 4 脳血管疾患等② 座長：豊栄 峻					専門職可 14:00 ～ 14:50 介護ロボ 体験ツアー
14:00	講師：保坂 健二郎 座長：藤田 賢太郎				専門職可 Z 14:20～15:20 口述発表 5 高齢期 座長：川井田 翔悟			
15:00		一般可 W 14:50～16:20 座談会 1 生きる 一歩前へ 講師：Shoko (高橋尚子) 座長：西 綾	一般可 Z 15:10～16:10 専門職講演 腎臓リハビリ テーション～透 析中リハビリテー ションへの組みこ み～ 講師：上谷 耕平 座長：植村 健一	専門職可 Z 15:30～16:30 口述発表 6 MTDLP 座長：黒木 辰朗				
16:00	一般可 W 16:30～18:00 シンポジウム 1 作業療法 ×最新技術 ～作業療法の 未来について～ シンポジスト： 葉山 靖明 竹林 崇 川口 晋平 座長：濱添 信人	OTのみ Z 16:40～18:10 九州作業療法士会 MTDLP 推進 委員会企画 MTDLP の実 践力を高めよう ～インテークから合 意 目標設定までのプロ セスを再考する～ 講師：齋藤 佑樹 座長：西 聡太						
17:00					17:00～ 18:00 ポスター 撤去			
18:00								

一般可：一般の聴講（参加）可 専門職可：OT／他職種聴講（参加）可 W：ウェビナー配信 Z：Zoom 配信

2日目

2023年7月9日 日 かごしま県民交流センター

	1階	2階	4階		2階	
	メイン会場 県民ホール	各講演会場 中ホール	口述発表会場1 大研修室3	口述発表会場2 大研修室4	機器展示 マルシェ 大ホール	eスポーツ OT・広報 展示ロビー
9:00						
9:30	開 場					
10:00	10:00～11:00 一般可 W 教育講演 2 晴れ晴れと 高次脳機能 障害支援 講師：岡村 忠弘 座長：窪田 正大	10:00～11:30 一般可 シンポジウム2 発達支援K-OTチーム企画 児童発達支援にお ける「遊び活動」 の実施～多職種 協働の観点から～ シンポジスト： 長友 美保 瀬戸山 明子 山下 律子 金子 信夫 座長：井上 和博 ※オンライン配信なし	10:00～11:20 専門職可 Z 優秀演題発表 座長：四元 祐子		10:30 ～ 15:30 一般可 機 器 展 示 & マ ル シ エ	10:00～ 10:50 専門職可 介護ロボ 体験ツアー
11:00	11:30～13:00 一般可 W 座談会 2 仕事の流儀 福祉のリーダー、 リハビリを語る！ 講師：川畑 善博 中迎 聡子 座長：西 綾		11:30～12:30 専門職可 Z 口述発表 7 運動器疾患・ 認知障害 (高次脳機能 障害を含む) 座長：湯永 正敏	11:30～12:30 専門職可 Z 口述発表 8 発達障害・教育 座長：内勢 美絵子		12:00 ～ 14:00 一般可 e ス ポ ー ツ 体 験 & O T 瓦 版
12:00						
13:00	13:30～14:30 一般可 W 教育講演 3 命に寄り添う 講師：奥田 知志 座長：吉満 孝二	13:00～14:30 OTのみ Z 九州作業療法士会会長 会 リーダ－養成 研修会 九州はひとつ！ 人がつながる土会 活動を語ろう！！ ～新しいステージ に向けて～				
14:00	14:40～15:00 W 次期学会長挨拶					
15:00	15:00～15:30 W 閉会式／表彰式					

一般可：一般の聴講（参加）可

専門職可：OT／他職種聴講（参加）可

W：ウェビナー配信

Z：Zoom 配信

プログラム

学会長講演 7月8日(土) 11:10～12:10

メイン会場(県民ホール)(Zoom ウェビナー)

一般聴講可

座長：福永 一喜(株式会社 イロドリ)

介護ロボット最前線

吉満 孝二 鹿児島大学 医学部保健学科 作業療法学専攻 助教

教育講演1 7月8日(土) 13:00～14:00

メイン会場(県民ホール)(Zoom ウェビナー)

一般聴講可

座長：藤田 賢太郎(鹿児島医療技術専門学校)

アートブリュット 生み出すことと生きること ～美術と福祉の交わる場所～

保坂 健二郎 滋賀県立美術館 館長・ディレクター

教育講演2 7月9日(日) 10:00～11:00

メイン会場(県民ホール)(Zoom ウェビナー)

一般聴講可

座長：窪田 正大(鹿児島大学 医学部 保健学科)

晴れ晴れと高次脳機能障害支援

岡村 忠弘 NPO 法人 脳損傷友の会 高知青い空 統括
株式会社 FIRST RATE 取締役

教育講演3 7月9日(日) 13:30～14:30

メイン会場(県民ホール)(Zoom ウェビナー)

一般聴講可

座長：吉満 孝二(鹿児島大学 医学部 保健学科)

命に寄り添う

奥田 知志 認定 NPO 法人 抱樸(ほうぼく) 理事長

シンポジウム1 7月8日(土) 16:30～18:00

メイン会場(県民ホール)(Zoom ウェビナー)

一般聴講可

座長：濱添 信人(種子島医療センター)

[作業療法×最新技術 ～作業療法の未来について～]

シンポジスト：

葉山 靖明 ケアプラネッツ 代表

竹林 崇 大阪公立大学 医学部 リハビリテーション学科 教授

川口 晋平 田川新生病院

シンポジウム2 7月9日(日) 10:00～11:30

各講演会場(中ホール)

一般参加可

座長：井上 和博(鹿児島大学 医学部 保健学科)

発達支援 K-OT チーム企画

[児童発達支援における「遊び活動」の実施 ～多職種協働の観点から～]

シンポジスト：

長友 美保 子ども家庭支援センターみらい

瀬戸山 明子 一般社団法人ココロ こども発達相談センターいろは

山下 律子 特定非営利活動法人にじ こども発達相談センターにじいろ

金子 信夫 フリーランス

座談会1 7月8日(土) 14:50～16:20

各講演会場(中ホール)(Zoom ウェビナー)

一般聴講可

座長：西 綾(株式会社 輝く羽)

生きる 一歩前へ

Shoko(高橋 尚子) 株式会社 CREIT 代表

一般聴講可

座長：西 綾(株式会社 輝く羽)

仕事の流儀

福祉のリーダー、リハビリを語る！

川畑 善博 株式会社ラグーナ出版 代表
精神保健福祉士

中迎 聡子 株式会社いろ葉 代表

一般聴講可

座長：植村 健一(鹿児島第一リハビリテーション専門学校)

腎臓リハビリテーション

～透析中リハビリテーションへの取り組み～

上谷 耕平 医療法人青仁会 池田病院 血液浄化センターリハビリテーション 作業療法士

OTのみ

座長：西 聡太(介護老人保健施設 清雅苑)

MTDLP の実践力を高めよう

～インテークから合意目標設定までのプロセスを再考する～

齋藤 佑樹 学校法人北杜学園 仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授
宮城刑務所 機能訓練アドバイザー

OTのみ

リーダー養成研修会企画

九州はひとつ！人がつながる士会活動を語ろう！！

～新しいステージに向けて～

抄 録

介護ロボット最前線

吉満 孝二

鹿児島大学 医学部保健学科 作業療法学専攻 助教

従来、リハビリテーション専門職と福祉用具との関係は非常に密接で、作業療法士は福祉用具の選択、調整、使用方法の指導、そして福祉用具が利用者の生活に与える影響の評価などに深く関与してきました。近年、社会のDX化、IoT化が進む中で福祉用具はさまざまな広がりを見せ、現代においては介護ロボットが注目を浴びています。

そこで、本講演では、介護ロボット初級編として、所属施設(関連施設を含む)で介護ロボットを導入する際、私たちが理解しておかなくてはならない職員ニーズの評価手順、適切な介護ロボットの選択と環境調整、介護ロボットの適応対象者の選択手順、職員への使用方法の伝達、介護ロボット試用後の評価方法について解説します。

さらに中級編として、特に管理職向けに、介護保険の次期改訂で加算対象となるであろう介護ロボット導入による「生産性向上」の取組みの実例を紹介すると共に、今後職場で私たちが果たすべきリーダーシップについても説明します。

作業療法士は介護ロボットの開発においても、専門性を発揮して、プレゼンスを示すことができます。最後に鹿児島県作業療法士協会の介護ロボット研究班が介護ロボットのニーズ・シーズマッチング事業で行った取り組みや企業と異分野連携で見守りコミュニケーション機器の開発を行った経験から、作業療法士の未来の職域についても述べたいと思います。



学 歴

1993年3月	明治大学 商学部 商学科 卒業
1998年3月	鹿児島大学 医療技術短期大学部 作業療法学科 卒業
2003年3月	鹿児島大学 修士(法学)取得
2011年4月	鹿児島大学大学院 博士(保健学)取得

職 歴

1993年4月	医療法人桜松会 入職
1998年4月	作業療法士免許 取得、医療法人社団慶栄会 入職
2001年4月～	鹿児島大学 医学部 保健学科 入職
2014年9月	認定作業療法士資格 取得

社会活動

2012年5月～	鹿児島県作業療法士協会理事 就任
2021年6月～	介護ロボット相談窓口設置事業(厚労省)業務アドバイザー 就任 介護ロボットニーズシーズマッチング支援事業(厚労省) マッチングサポーター 就任
2022年5月～	鹿児島県作業療法士協会会長 就任

一般演題 プログラム

一般演題

優秀演題発表 7月9日(日) 10:00～11:20

口述発表会場1(大研修室3)

座長：四元 祐子(鹿児島医療技術専門学校)

- SS-1** ICTを活用した遠隔見守りシステムによる
在宅高齢者の自立支援と介護者の業務最適化への取り組み
藤田 賢太郎 学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校
- SS-2** 介護保険関連施設従事者を対象とした介護倫理に関する研究
西 秀崇 医療法人 天心堂 志田病院
- SS-3** 初期認知症者に対するカウンセリング介入
岩切 良太 日南市立中部病院 リハビリテーションセンター
- SS-4** 選択的頸部郭清術後の副神経麻痺による上肢機能障害と日常生活動作との関連性
與谷 和真 琉球大学病院 医療技術部 リハビリテーション部門
- SS-5** 夫の逝去で落胆していたが MTDLP を通して活力を取り戻し、
自宅生活と稼業の手伝いを再開できた事例
佐藤 友美 JCHO 湯布院病院
- SS-6** 脳卒中後うつ患者に対し、意味ある作業を介入した事例
一回復期リハビリテーション病棟での関わりー
桑原 由 医療法人相生会 にしくまもと病院
- SS-7** 発達障害領域での地域支援体制の充実への取り組みについて
～長崎県作業療法士会特設委員会の活動より～
原田 洋平 長崎県作業療法士会
長崎こども・女性・障害者支援センター
- SS-8** 急性期病棟における病棟専従作業療法士の配置
武谷 秀一 社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院

口述発表1 7月8日(土) 11:10～12:10

口述発表会場1(大研修室3)

[脳血管疾患等①]

座長：秦 陽一(青雲会病院)

- O-1** 自尊感情が不足した多発神経鞘腫患者
～物語的リーズニングを基に本人の生きがいに焦点を当てた作業療法の介入～
松石 健一郎 医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院
- O-2** 「できるようになりたい」を最大限に活かす
～左麻痺の美容師に対する就労支援～
馬場 貴士 独立行政法人 労働者健康安全機構 長崎労災病院

- O-3** 記憶障害が残存した症例に対する復職支援
中屋 公汰 独立行政法人 労働者健康安全機構 長崎労災病院
- O-4** 当院における自動車運転再開に向けた神経心理学検査の検討について
吹上 崇 藤元メディカルシステム 藤元総合病院
- O-5** 当院回復期リハビリテーション病棟スタッフへのポジショニングの意識調査
～ポジショニングの統一を目指して～
辻 真奈美 医療法人社団東洋会 池田病院
- O-6** 高齢者の T 字杖歩行獲得に関する要因の検証
～ HDS-R と Kohs Block Design Test に着目した介入とカットオフ値の算出～
板井 幸太 学校法人 藤川学園 福岡リハビリテーション専門学校

口述発表2 7月8日(土) 11:10～12:10

口述発表会場2(大研修室4)

[地域]

座長：池田 真一(鹿児島第一医療リハビリ専門学校)

- O-7** 著しく体重減少した脊髄小脳変性症患者へのアプローチについて
～本人の能力に適した食事動作を在宅でも継続するために～
志柿 臣哉 社会医療法人寿量会 熊本機能病院
- O-8** 地域在住高齢者における主観的な睡眠の質と重要な活動の満足度との関連
赤崎 義彦 垂水市立医療センター 垂水中央病院
鹿児島大学大学院 保健学研究科 博士後期課程
- O-9** ICF における「参加」に着目した関わりにより
レビー小体型認知症の進行を緩やかに出来た症例
庄野 里沙 ケアサポートメロン DEKIRU
- O-10** 行政と連携したメンタルヘルス普及啓発の実践
～社会教育施設でのメンタルヘルス講座～
岡崎 史裕 私の街のメンタルヘルス研究会
医療法人 信和会 城ヶ崎病院
- O-11** アルコール依存症と共に生きる
～就労継続支援 b 型事業所より～
菊池 由加理 社会福祉法人 つわ蒔会 就労サポート事業所 ミチテル
- O-12** 「介護予防・日常生活支援総合事業」の C 型の訪問を利用した 1 例
城戸 よしみ 医療法人和仁会 和仁会病院

[援助機器]

座長：爲近 岳夫(熊本保健科学大学)

- O-13** 目標達成を目的とした遠隔リハビリテーションを実践した
大腿骨転子間骨折術後の一症例
中村 次郎 社会医療法人 長崎記念病院
- O-14** 在宅高齢者の見守りと健康管理のためのビデオ通話システム「ami」の開発
吉満 孝二 鹿児島大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻
- O-15** 麻痺側手に機能的スプリントを着用することで出来る作業の拡大を認めた一症例
藤原 謙吾 一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院
- O-16** 症例自身のニーズに合わせた自助具の考案
～ADLが自立し母親としての役割を獲得できた症例～
甲斐 鈴望 社会医療法人寿量会 熊本機能病院
- O-17** ビデオ通話システム「ami」を用いた
在宅高齢者の見守り・コミュニケーション支援の一例
平嶋 佑太郎 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

[脳血管疾患等②]

座長：豊栄 峻(鹿児島大学病院)

- O-18** バランス能力向上重視のリハビリテーション治療を行なった右視床出血の一例
三宅 陽平 社会医療法人 白十字会 耀光リハビリテーション病院
- O-19** 回復期の脳卒中重度から軽度上肢麻痺に対する
上肢リハビリ装置の実行可能性と有用性の検討
藤本 皓也 医療法人玉昌会 加治木温泉病院
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 リハビリテーション医学
- O-20** ボツリヌス療法における当院リハビリテーション科の取り組み
坂本 祐士 一般社団法人巨樹の会 新武雄病院
- O-21** 痙縮に対するボツリヌス治療チームにおける作業療法士の関わり
兵道 哲彦 飯塚病院
- O-22** 摘み・握りを必要とするリーチ動作時の肩甲帯周囲筋の筋活動の検討
豊田 正成 医療法人社団高邦会 柳川リハビリテーション病院
- O-23** ADL・IADL介入を通してセルフアウェアネスの改善を図ったことで
主婦として家事が担えるようになった半側空間無視患者一例
富永 麗華 医療法人慈圭会 八反丸リハビリテーション病院

[高齢期]

座長：川井田 翔悟(谷山病院)

- O-24** ADL 低下を来すことなく治癒を成した両踵褥瘡を有する1例を通して
一褥瘡ゼロを目指し、OT を中核に取り組んだ対策プロセス—
川田 隆士 介護老人保健施設 サンファミリー
- O-25** 回復期リハビリテーション病棟入棟患者における
高齢化による ADL 帰結の関連と栄養状態の実態
湯永 正敏 医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院
- O-26** 睡眠障害を伴った認知症高齢者への対応
～眠りスキャンを用いて～
中原 広司 介護老人保健施設 アンダンテ伊集院
- O-27** COVID-19 禍における回復期リハ病棟自宅退院患者の退院後 ADL の変化
森山 悠平 社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院
- O-28** 作業遂行の基盤である「人ー環境ー作業」への包括的支援によって
作業機能障害が改善した事例
舞田 大輔 医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院
- O-29** 精神科デイケア高齢者向け転倒予防の取り組み
～転倒予防運動の効果について～
竹谷 健太郎 医療法人社団豊永会 飯塚記念病院

[MTDLP]

座長：黒木 辰朗(神村学園専修学校)

- O-30** 散歩を目標に更衣動作の介助量軽減につながった事例
中村 明治 社会医療法人親仁会 みさき病院
- O-31** つなぐ想いと明日への挑戦
—突然の怪我により娘の卒業式に参加ができなかった頸髄損傷者に対する MTDLP—
塚本 倫央 独立行政法人 労働者健康安全機構 長崎労災病院
- O-32** 自己効力感の向上により行動変容を認めた事例
～役割の再獲得に着目して～
浦上 菜々瀬 医療法人清和会 老人保健施設 シルバーピア水前寺
- O-33** 生活行為向上マネジメントを活用し
趣味である陶芸を通して活動意欲の向上に繋がった事例
中西 撤矢 医療法人松城会 隼人温泉病院
- O-34** 認知症高齢者に対して MTDLP を用い、
調理を通じて妻としての役割再獲得に繋がった事例
大津 泰寛 医療法人松城会 隼人温泉病院

[運動器疾患・認知障害(高次脳機能障害を含む)] 座長: 湯永 正敏(クオラリハビリテーション病院)

O-35 腱板修復術後に認知行動療法を併用した作業療法実践により不安が軽減した事例

尾崎 直哉 医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院

O-36 急性期、橈骨遠位端骨折術後患者の痛みの悪循環から早期脱却に向けて認知行動療法を行った一症例

久保田 智博 独立行政法人 労働者健康安全機構 長崎労災病院

O-37 大腿骨近位部骨折術後患者の特徴整理
～せん妄に焦点を当てた急性期作業療法における課題の検討～

宮本 祐希 地方独立行政法人 長崎市立病院機構 長崎みなとメディカルセンター

O-38 IADL 評価の認知症鑑別検査としての有用性と課題

重藤 旭 医療法人社団 高邦会 柳川リハビリテーション病院

O-39 当院における認知症疑いのある運動器疾患患者の転帰先要因について

山川 一晃 医療法人おもと会 大浜第一病院

O-40 A-QOA の活用により意味のある活動選択が実現し活動の質が向上した事例

増田 達也 医療法人社団豊永会 飯塚記念病院

[発達障害・教育] 座長: 内勢 美絵子(社会福祉法人光生会 都城子ども療育センターひかり園)

O-41 精神科受診をした不登校児のはじめの一步
～人とのつながりを拒むこどもに気づかされた作業療法の可能性～

有馬 雄太郎 医療法人敬愛会 玉里病院

O-42 早期支援をつなぐ
～医療と福祉の共同事業モデル～

渡辺 貴子 公益社団法人昭和会 いまきいれ子ども発達支援センターまある
公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院

O-43 応用行動分析学に基づく作業療法実践により
食事動作の改善を認めた精神遅滞児の一例

小崎 由果 医療法人玉昌会 加治木温泉病院

O-44 当院における ICT を使用した臨床実習支援システム導入の試み
～第一報～

中野 宏治 社会医療法人 緑泉会 米盛病院

O-45 人間作業モデルの教育が作業療法学生に与える影響に関する文献研究

新川 正二 伊敷病院

O-46 VR が育てる多職種連携教育に対する学生の見識の変化

四元 祐子 学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科

ポスター発表

ポスター1 7月8日(土) 11:10～12:00

ポスター会場(中研修室3)

- P-1** ADOC-H を用いることで行動変容を促すことができた
不安の強い脳卒中後上肢麻痺の事例
高良 春花 博仁会 福岡リハビリテーション病院
- P-2** 重度上肢麻痺患者に対し機能の改善に合わせた段階的な介入を行った結果
生活での麻痺手の使用が可能となった例
鳥越 彩 社会医療法人 恒心会 恒心会おぐら病院
- P-3** 回復期脳卒中患者に対し持続的低振幅電気刺激下の促通反復療法を実施し
麻痺手の機能改善を認めた一例：
シングルケースデザインによる効果検証
小川 良輔 社会医療法人三校会 宮崎病院
- P-4** 脳卒中患者の自動車運転再開における
ウインカー・アクセルペダル交換を検討した症例
藤原 彰二 特定医療法人東筑会 東筑病院
- P-5** しびれ同調経皮的電気刺激を行い右手のしびれ感や感覚障害、
身体表象に改善が得られた後縦靱帯骨化症の一例
豊栄 峻 鹿児島大学病院 リハビリテーション部
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 リハビリテーション医学
- P-6** 後期高齢者における変形性遠位橈尺関節症・伸筋腱皮下断裂の
術後ハンドセラピーの経験
有働 佑利子 地方独立行政法人 大牟田市立病院
- P-7** 新型コロナウイルス感染後にギランバレー症候群を続発した症例に対して
CBA が有効であった1例
松谷 美央 社会医療法人 青洲会 福岡青洲会病院
- P-8** 当院介護医療院における屋外園芸活動の持続可能性を模索して
鳥居 冬通 医療法人博悠会 博悠会温泉病院
- P-9** COVID-19 拡大前後の地域在住高齢者における大切な活動の特徴および
満足度の検討
下木原 俊 鹿児島大学大学院 保健学研究科 博士後期課程
日本学術振興会 特別研究員(DC2)
- P-10** 布団の重みを除去する事で、足関節の可動域が改善した症例についての報告
永田 真人 医療法人 福岡桜十字 花畑病院
- P-11** 重度認知症の母が住み慣れた家で独居生活を送るための防犯カメラの活用
～家族の介護負担軽減と介護者側の感情マネジメント効果～
末廣 昌平 鹿児島県立始良病院

- P-12** 『家族の為に働きたい』を実現する生活行為によって
前向きな生活を取り戻しつつある当施設利用者の一例
内野 茜 社会福祉法人佐世保白寿会 介護老人保健施設 さざ・煌きの里
- P-13** MTDLP の活用が家族と本人の自己効力感に変化をもたらした一例
～パーキンソン病におけるバランス機能に着目して～
自見 美菜 医療法人杏林会 村上記念病院
- P-14** 実態調査から見えた建設業労働者の痛みと今後の課題
塩貝 勇太 千鳥橋病院附属 粕屋診療所
- P-15** 橈骨遠位端骨折術後患者のホームエクササイズ用掌背屈板の考案
内野 保則 医療法人心々和会 佐世保国際通り病院
- P-16** 訪問リハビリテーションで鹿児島市営住宅の環境調整に建築素材と市販品を用い、
創意工夫から得た整備支援の一例と課題
寺園 光弘 医療法人日章会 南鹿児島さくら病院
- P-17** 回復期リハビリテーション病棟でのガーデンセラピーと認知機能の関連について
当院での取り組みを交えて
角田 悠貴 医療法人 博光会 御幸病院
- P-18** 法人グループ内施設間の特色を活かした人材育成システムについて
～職員ラダーレベルの標準化を目指して～
峰岡 貴代美 社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院
- P-19** 宮崎県作業療法士会学術部の取り組み
～研修会運営と広報活動について～
郡 健太 一般社団法人 宮崎県作業療法士会 学術部
- P-20** 当院における職員の勤労者予防医療への取り組み
田崎 あおい 医療法人心々和会 佐世保国際通り病院
- P-21** 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に伴う学生のメンタルヘルスへの影響
渡邊 正之 学校法人 玉木学園 長崎医療技術専門学校
- P-22** オンラインセミナーを使用したリハビリテーション部内研修の取り組み報告
有村 智美 医療法人日章会 南鹿児島さくら病院

〈次期開催予定〉

九州作業療法学会 2024 in 大分

挑戦

～作業療法士はイノベーションを起こせるか～

会 期：2024年6月22日（土）・23日（日）

会 場：J：COM ホルトホール大分
（〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号）

学会長：佐藤 孝臣（株式会社ライフリー）

主 催：九州作業療法士会長会

九州作業療法学会 2023 in 鹿児島

発行者：九州作業療法士会長会

事務局：一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会
〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町1-13 ナポリビル4階
E-mail：kyuot2023@gmail.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>



九州作業療法学会2023 in 鹿児島 事務局

一般社団法人 **鹿児島県作業療法士協会**

〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町1-13 ナポリビル4階

TEL/FAX: 099-225-8222

E-mail: kyuot2023@gmail.com

学会HP <https://kyuot2023.secand.net/>